

科目名	包帯 1							年度	2025
英語科目名	Bandage 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	難波英樹、後藤晃弘	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 骨折などの整復位を安静に固定するための知識と技術を習得することを目的とする。									
【科目の概要】 柔道整復師に必要な包帯の巻き方について学びます。									
【到達目標】 環行帯、螺旋帯、蛇行帯、折転帯、亀甲帯を基本に授業を行う。冠名包帯や投石帯などを状況に合わせた包帯法を含め、金属副子や副木、厚紙副子といった硬性材料の作成、軟性材料の適切な使用ができることを目標とする。									
【授業の注意点】 この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	固定の目的を完全に理解している。	固定の目的を大体理解している	固定の目的を部分的に理解している。	固定の目的についての理解がやや不足している。	固定の目的を理解していない。				
到達目標 B	環軸包帯の注意事項を完全に理解している。	環軸包帯の注意事項を大体理解している	環軸包帯の注意事項を部分的に理解している。	環軸包帯の注意事項についての理解がやや不足している。	環軸包帯の注意事項を理解していない。				
到達目標 C	基本包帯法を正しく巻くことができる。	基本包帯法を大体巻くことができる。	基本包帯法の正しい走行は理解している。	基本包帯法を正しく巻くための理解がやや不足している。	基本包帯法を正しく巻くことができない。				
到達目標 D	冠名包帯法を正しく巻くことができる。	冠名包帯法を大体巻くことができる。	冠名包帯法の正しい走行は理解している。	冠名包帯法を正しく巻くための理解がやや不足している。	冠名包帯法を正しく巻くことができない。				
到達目標 E	部位別包帯法を正しく巻くことができる。	部位別包帯法を大体巻くことができる。	部位別包帯法の正しい走行は理解している。	部位別包帯法を正しく巻くための理解がやや不足している。	部位別包帯法を正しく巻くことができない。				
【教科書】 教科書（包帯固定学一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		包帯 1			年度	2025
英語表記		Bandage 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	授業概要の説明	環軸包帯について理解する。	1 包帯の巻き方の基礎	包帯の巻き方の基礎について理解する。	3	
			2 順巻きと逆巻き	順巻きと逆巻きについて理解する。		
			3 表巻きと裏巻き	表巻きと裏巻きについて理解する。		
2	巻き方と注意事項	固定の目的を理解する。	1 整復位保持・再転位防止	整復位の保持や再転位の防止について理解する。	3	
			2 安静保持・可動域制限	安静保持や可動域制限について理解する。		
			3 良好な治癒環境の確保・変形の防止と矯正	良好な治癒環境の確保や変形の防止と矯正について理解する。		
3	固定の範囲および肢位	固定肢位を理解する。	1 固定範囲の原則	固定範囲の原則について理解する。	3	
			2 固定肢位の原則	固定肢位の原則を理解する。		
			3 機能肢位（良肢位）	各関節の一般的な機能的肢位を理解する。		
4	基本包帯法①	巻軸帯の巻き方と注意事項について理解する①	1 包帯の持ち方や巻き始めと巻き終わり	包帯の持ち方や巻き始めと巻き終わりについて理解する。	3	
			2 巻き進めの方向と巻き締め の強さ	巻き進めの方向と巻き絞めの強さについて理解する。		
			3 均等な圧・美しさ・包帯を巻く速さ	均等な圧・美しさ・包帯を巻く速さについて理解する。		
5	基本包帯法②	巻軸帯の巻き方と注意事項について理解する②	1 目的に合わせた包帯の選択	目的に合わせた包帯の選択について理解する。	3	
			2 巻目の包帯の帯尾の位置	巻目の包帯の帯尾の位置について理解する。		
			3 普段の練習の重要性	普段の練習の重要性について理解する。		
6	基本包帯法③	基本包帯法の巻き方について理解する①	1 環行帯	環行帯の巻き方について理解する。	3	
			2 螺旋帯	螺旋帯の巻き方について理解する。		
			3 蛇行帯	蛇行帯の巻き方について理解する。		
7	基本包帯法④	基本包帯法の巻き方について理解する②	1 折転帯	折転帯の巻き方について理解する。	3	
			2 亀甲帯	亀甲帯の巻き方について理解する。		
			3 麦穂帯	麦穂帯の巻き方について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 包帯固定の目的	包帯固定の目的を理解する。	3	
			2 巻き方の注意事項	包帯固定の注意事項について理解する。		
			3 基本包帯法の種類	それぞれの方法について巻き方を理解する。		
9	部位での基本包帯法①	各部位における包帯法を理解する①	1 頭部・顔面部	頭部・顔面部の巻き方について理解する。	3	
			2 肩部、肘部、前腕部	肩部、肘部、前腕部の巻き方について理解する。		
			3 手関節部、手指部	手関節部、手指部の巻き方について理解する。		
10	部位での基本包帯法②	各部位における包帯法を理解する②	1 股関節部	股関節部の巻き方について理解する。	3	
			2 大腿部、膝関節部	大腿部、膝関節部の巻き方について理解する。		
			3 下腿部	下腿部の巻き方について理解する。		
11	部位での基本包帯法③	各部位における包帯法を理解する③	1 足関節部	足関節部の巻き方について理解する。	3	
			2 足趾部	足趾部の巻き方について理解する。		
			3 胸部・背部	胸部・背部の巻き方について理解する。		
12	軟性固定材料①	軟性材料の種類について理解する①	1 環軸包帯	環軸包帯の種類や各部の名称について理解する。	3	
			2 三角巾	三角巾の形状や用途について理解する。		
			3 綿花	綿花の性質や用途について理解する。		
13	軟性固定材料②	軟性材料の種類について理解する②	1 ガーゼ	ガーゼの用途について理解する。	3	
			2 絆創膏	絆創膏の性質と用途について理解する。		
			3 サポーター	サポーターの用途や構造などについて理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 四肢の基本包帯法	上肢や下肢の基本包帯法について理解する。	3	
			2 頭部・体幹の基本包帯法	頭部・顔面部、胸部・背部の基本包帯法について理解する。		
			3 軟性固定材料	軟性固定材料の種類と用途について理解する。		
15	硬性固定材料	硬性材料の種類について理解する。	1 金属副子	金属副子の性質と種類について理解する。	3	
			2 厚紙副子	厚紙副子の性質と種類について理解する。		
			3 合成樹脂副子	合成樹脂副子の種類について理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等